

第4回

神宮の杜に 円山公園に 雪がふるふる

とうとう手稲山にも初冠雪。この頃に円山公園（札幌市中央区）や北海道神宮（同）を散歩すると、いろんな木の葉が足下でかさこそしている。そして、色や形の良いものを見つけては手帖に挟み、落ち葉拾いを楽しんでいる。たまに、いつ挟んだのか分からない木の葉が、本や手帖から見つかって、ちょっとだけ得した気分になる。私にとって、北海道神宮と円山公園はこの20年近く、季節の移り変わりを楽しむ、最も身近な場所だ。

春、こぶしの花が咲き始めると次々に梅や桜が開花する。花に彩られた公園に、ようやくやってきた春を、思う存分感じるのだ。花見時期のジンギスカンもすでに風物詩。そして、にぎやかに北海道神宮祭が終わると、夏がやってくる。緑はますます深く、蝉の聲が騒がしい木陰で涼みながら、茶店のお菓子とお茶をいただくのも楽しみのひとつ。秋には色づいた落ち葉を拾いつつ、エゾリスやキタキツネに遭遇することも。こんなときはここが山の麓だということ、思い出させてくれる。

そして、いよいよ冬。すっかり落ちた木の葉の上に、裸ん坊になった木の幹の上に、これから雪が積もるだろう。天気の良い日、木々の間を見上げると、木と木の上の雪と青空が一体となつてとてもきれいだ。また、新しく降った雪の上をさくさくと、足跡をつけながら歩くのも楽しい。冬には冬の良さがあるなあいつも思う。

今年もあつという間に12月。師が走っている間に、すぐ大晦日をおおみそかを迎えそう。今年も変わりなく季節を楽しみ、無事に過ごせたことに感謝したい。そして年が明けたら初詣でに行き、北海道神宮の杜からまた新しい1年が始まる。新年もすべてに良い年でありますように。



すずき もも

イラストレーター・絵本作家／スローフードさっぽろリーダー

東京生まれ、北海道夕張育ち。広告や雑誌、カレンダーなどのイラストを描くほか、イラストで綴る町案内の本や絵本などを執筆。代表作に「さっぽろおさんぽ日和」（北海道新聞社）「わくわくおやつ手帖」、近著に絵本「はるとなつ はたけのごちそうなーんだ？」（アリス館）がある。また、食の活動として13年続けた「スローフードフレンズ北海道」からのれん分けで「スローフードさっぽろ」を2016年に立ち上げ、食を中心に環境や暮らしの大事に取り組んでいる。モットーは4つのS。「Simple, Slow, Small, Smile: ささやかに、ゆっくり、ほどほどに、にことにこと」。



焼きたてほかほか
の「判官さま」
が食べられます!

神宮内にある
六花亭の
茶店

お茶が無料に
飲めます!

ちよっ
はなれさ
けと...

Café
de Zaza

充実した
スイーツが
味わえる!

大きめクリームが
入って!

かくれ家
みたけ
ハク屋さん

円麦!
不かにツク小房で焼きます!

おいしい
食材はら
おまかせ!

円山を
さんぽしてね

木の原商店
お買物かたのしり!